



米海兵隊岩国航空基地司令官 環境保護所信表明



私は実働的且つ効果的な環境管理システムの実践により、当基地の任務遂行準備状態を維持促進する立場に堅く立っている。従って、海兵隊岩国航空基地の日々の運営や意思決定の過程において環境への配慮が組み込まれるものとする。

海兵隊岩国航空基地はジャパン・エンバイロメンタル・ガバニング・スタンダード（JEGS（ジェグズ）と呼ばれる、日米両国合意の環境管理基準）及び海兵隊の環境方針に熱心に従う立場に立つ。この責任は、テナント部隊及び本部の各部隊が自己査定プログラムに参加し、JEGS 及び当基地の環境指令書を順守することを要する。

海兵隊岩国航空基地は公害を防止し、我々の決定や運営の環境への悪影響を最小限にし、我々の担う自然環境や文化財を守ってそれらを保ち、我々の任務へのリスクを最小限にする立場に立つ。我々は発生源での削減、再利用、リサイクル、製品の代替等によって、実行可能な最大限の範囲で公害をなくし、廃棄物の削減を目指す。我々の任務を遂行する上で、エネルギーや資材の有効利用に配慮し、熱心に支持する。

海兵隊岩国航空基地は目標を制定し、目標達成に向けて我々の進行状況を測ることにより、我々の環境パフォーマンスの継続的改善の為に積極的に機会を求めていくものとする。環境面での目標達成の為に海兵隊員、海軍軍人、陸軍兵、空軍兵、及び民間従業員それぞれが、自分の行為が環境に与える影響について認識するよう訓練されなければならない。これは全員参加の務めである！ 施設部に所属する環境課が、本部やテナントの各部隊それぞれの業務に応じた環境問題、法規、方針のトレーニングや情報を繰り返し提供する。

環境への配慮を常に持つことにより、日本の隣人の皆様と我々の良い関係をさらに高める事が出来る。また、我々の任務遂行過程固有の環境への悪影響やコストを削減する事により、任務遂行の継続的な改善へと繋がる。

私は、海兵隊員、海軍軍人、陸軍兵、空軍兵、及び民間従業員 1 人 1 人が自分の行動に責任を持ち、環境に配慮して行うよう命じる。個人個人それぞれは自分の行為に対する責任を、上司は部下の行動に関して責任を問われるものとする。

J. C. STEWART